

骨シンチグラフィ診断支援ソフトVSBONEの有用性に関する研究

■ 研究の対象となる方

2018年4月1日～2020年3月31日に前立腺癌で骨シンチグラフィを受けられた方

■ 目的・方法

骨シンチグラフィという検査は骨転移を見つけるための検査として行われています。骨転移にも種類があり、骨が硬くなる造骨性骨転移、骨が溶ける溶骨性骨転移、造骨性骨転移と溶骨性骨転移が混合した骨転移等があります。骨シンチグラフィは骨が硬くなる造骨性骨転移に対して感度が高い検査です。近年はAIを用いた診断支援ソフトが導入され客観性のある指標や画像表示が可能となっています。

この研究では診断支援ソフトの使用の有無で比較を行い、有用性を検証することを目的としています。

診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。収集した情報は個人情報を削除し、解析・検証を行います。

■ 実施期間

2022年3月29日～2022年12月31日

■ 研究に使用する情報

年齢、性別、身長、体重、既往歴、血液検査、RI検査、MRI検査、CT検査など

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。また、本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個別にご説明することも可能です。いずれも下記へお申し出下さい。

試料や情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 中央放射線部 市岡 大輔（研究責任者） 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
------------	--

以上